

環境保護活動

社会の持続可能な発展に向け、全社で環境活動に取り組んでいます。
事業所の省エネルギー・省資源活動のほか、資産運用を通じた環境保護への貢献に努めています。

環境取組方針

当社は、「環境取組方針」を制定し、社会の一員として環境保護および環境負荷低減に取り組んでいます。

基本的な考え方

第一生命は、「社会からの信頼確保」という経営基本方針に基づき、社会の一員として地域の環境保全・地球環境保護および循環型社会の構築を企業の社会的な責任と捉え、一人ひとりが、日常的かつ継続的に以下の行動指針に沿って環境保全に取り組みます。

行動指針

1 生命保険事業における環境配慮行動

事業活動において、環境保全に関する諸法規や第一生命が同意した憲章・協定・指針等を遵守し、常に環境への影響に配慮した行動を行うよう努めます。

2 事業活動に伴う環境負荷の低減

事業活動に伴う資源・エネルギーの消費や廃棄物等の排出について、省資源、省エネルギー、資源のリサイクル、およびグリーン購入を推進し、環境負荷の低減に努めます。

3 環境啓発活動の推進

行動指針の徹底を通じて役職員の環境問題に対する意識の向上を図るとともに、環境保全活動への助成・支援をはじめとした環境啓発活動に取り組み、広く社会に貢献します。

4 持続的な環境改善の推進

目的・目標を設定し、取組方針や取組状況と合わせて取組結果の検証と積極的な開示に努め、持続的な環境改善に取り組めます。

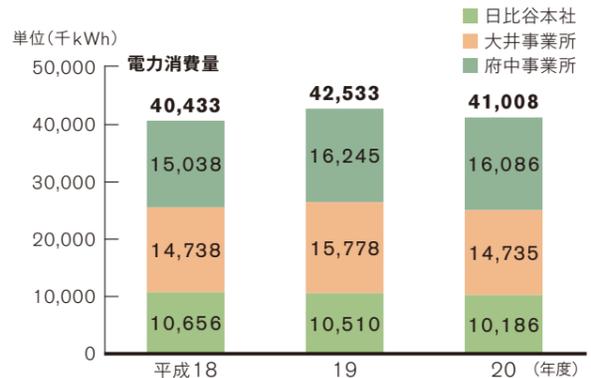
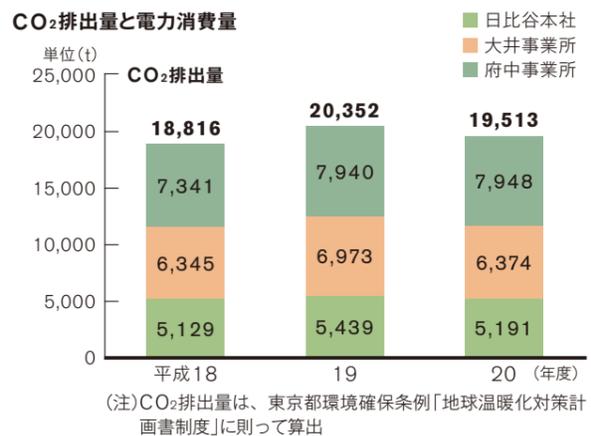
推進体制

「CSR推進委員会」傘下の「社会貢献・環境活動推進専門委員会」において、持続的な社会の実現に向け、環境保護取組を推進しています。具体的には、環境取組課題の共有化、取組みの検討・決定・実行、ならびに結果の検証・振り返りおよび次年度課題の検討というPDCAサイクルに則り運営しています。

地球温暖化防止に向けた取組みの推進

■ 事業活動における省エネの取組み

当社では、大規模事業所を中心に事業所単位で省エネに取り組むことにより、平成20年度は日比谷本社、大井事業所、府中事業所合計で前年度比4.1%のCO₂削減となりました。平成21年度は、全国の事業所におけるエネルギー使用に伴うCO₂排出量を一元的に管理し、省エネの取組みを推進しています。



■ 「チーム・マイナス6%」への参加

当社は平成17年度より温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」に参加し、職員による省エネ活動を実施しています。平成21年度は所属ごと・職員ごとに「マイクールビズ」運動を実施し、昼間の事務室消灯、OA機器の節電などそれぞれの職場に応じて取り組んでいます。



省エネ推進ポスター



■ 自然エネルギーの導入

平成21年度に開催した第19回「緑のデザイン賞表彰式(5月)」、第108回「定時総代会(6月)」、第61回「保健文化賞贈呈式(10月)」等の会場で使用した電力を環境負荷の少ないグリーン電力でまかないました。今後も自然エネルギー導入を進めていきます。

省資源の取組み

当社は、保険商品のご提案から各種通知の配付など大量の紙資源を使用します。従来から省資源の観点より事業所単位で紙使用量削減の取組みを行ってきましたが、平成20年度の全社の紙使用量は11,100 tにのびました。全社を挙げて紙使用量削減の取組みをより強化すべく、社会貢献・環境活動推進専門委員会傘下にプロジェクトチームを設置し、さまざまな取組みを推進しています。

■ コピー用紙の削減

平成21年度よりコピー用紙の削減に積極的に取り組んでいます。具体的には役職員会議でのプロジェクト活



パソコン・プロジェクターを活用した会議

用、配布資料削減等の取組みを進めています。また、各部門ごとに設定された削減目標の達成状況を全社で共有化しています。

■ 印刷物の紙削減

平成20年度から21年度にかけて、全社の紙使用量のうち6割強を占める各種お客さま向け印刷物や社内帳票について、以下のとおり抜本的な紙削減を図っています。

主な取組み

商品パンフレット等の統廃合・電子化の推進	使用実績を踏まえて統廃合、電子化を進め、パンフレット等の種類を平成20年度期初と比較して、約50%に削減しました。
ご契約期間中に提供する保険約款の見直し	ご契約期間中に提供する保険約款について「保険約款のオーダーメイド化」を実施したことにより、1契約あたり平均して約240ページ、平成20年度で約37トンの紙使用量を削減しました。
ご契約の申込時までに提供する保険約款のCD-ROM化	平成21年10月より、ご契約の申込時までに提供する保険約款について「CD-ROM化」を実施しました。これにより、ご契約者に提供する「ご契約のしおり一定款・約款」のページ数は大幅な削減となりました。

「グリーン購入」の推進

社内購買システムを通じた事務消耗品購入における平成20年度の「グリーン購入率」（購入総額に対する低環境負荷商品の購入額が占める割合）は、全社で53.5%となっています。さらなるグリーン購入の推進を図るべく、平成21年8月より社内購買システムの商品ラインアップを原則環境対応商品に改めました。また、コピー用紙についても100%グリーン購入適合商品を購入しています。

リサイクルの促進

事業における抜本的な紙使用量の削減とともに、使用した紙については情報漏えいが起きないように徹底した管理を行った上で、リサイクルを積極的に進めています。

平成20年度は、3,800 tの紙を100%再生利用しました。

資産運用を通じた環境保護への貢献

環境への配慮を資産運用部門の業務行動基準に明示し、対象企業等の社会的責任も投資判断基準の一つとしています。

✕ 公序良俗に反するもの

✕ 環境破壊、投機的な土地取引を助長するもの

■ 環境に配慮した不動産投資

当社では、建築物の緑化や省エネ設備の導入により環境負荷を低減したビルの建築を進めるとともに、既存の建物については、大型物件を中心に中長期保全計画に基づいた計画的な省エネ取組みを推進しています。

「CASBEE 大阪 OF THE YEAR 2007」受賞

梅新第一生命ビルディングにおける屋上緑化・太陽光発電・雨水利用など環境負荷低減への取組みが評価され、建築物の環境性能を測るシステム「CASBEE 大阪」にて、平成16年の最高(S)ランク取得に続き、平成20年3月に本賞を受賞しました。



梅新第一生命ビルディング

「蓄熱のつどい」表彰

平成21年度、川越第一生命ビルディングにおける地球温暖化防止に寄与するヒートポンプ・蓄熱システムの普及・拡大に向けた取組みにより、(財)ヒートポンプ・蓄熱センター主催の「蓄熱のつどい」にて感謝状を受けました。



平成21年度「蓄熱のつどい」感謝状贈呈式

リノベーションの取組み

建物の用途や機能を変更して、その性能や価値の向上を図る「リノベーション」に取り組んでいます。平成19年10月に竣工したOGGI(東京都・井荻APリノベーション)では、老朽化した鉄骨づくりの社宅を改修することにより、賃貸マンションとして再生させ、「第26回住まいのリフォームコンクール」(応募総数592件)にて「国土交通大臣賞」を受賞しました。

その他の不動産投資における環境保護取組事例

内容	年度	対象建築物
高効率空調機導入支援事業認定	平成19年度	梅田センタービル
	平成21年度	DNタワー21
住宅・建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業認定	平成19年度	大阪第一生命ビルディング 幕張テクノガーデン
	平成20年度	第一生命府中ビルディング 福岡祇園第一生命ビルディング
	平成21年度	京都御池第一生命ビルディング エステック情報ビル

社会に対する環境保護・啓発活動

■ 「緑の環境デザイン賞」(旧:「緑のデザイン賞」)

「緑の環境デザイン賞」は、全国の市民団体・公共団体等から募集した都市部の緑化プランに対し緑化実現のための資金助成を行うもので、これまで38都道府県120カ所の都市緑化プランを表彰し、緑の拠点づくりによる生活の質の向上と市民・企業協働のまちづくりを支援してきました。

第20回の節目を迎えた平成21年度より、名称を「緑の環境デザイン賞」に変更し、ヒートアイランド化の緩和や生物多様性保全など環境問題改善に効果のある緑化プランづくりを積極的に支援していきます。

the Voice

第19回「緑のデザイン賞」
受賞者の声

緑化により、
市民の方々の憩いの場に

特定非営利活動法人こもろの社
理事長
清水 克彦様



長野県小諸エリアの地域活性化の拠点として計画しました。応募に先立ち実施した市民参加ワークショップで得られた意見を基に緑化計画を練りました。その思いが今回の受賞につながったのだと思います。「停車場ガーデン」は今日も市民・観光客の方々の憩いの場として活用されています。



国土交通大臣賞受賞プラン
「停車場ガーデン」(長野県小諸市)